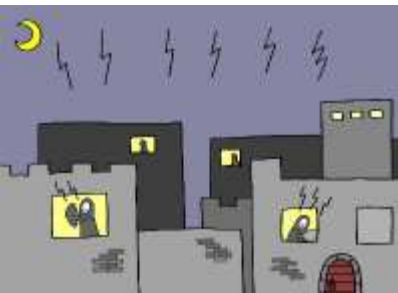



聖書	出エジプト11：1－13：16
タイトル	過越しの小羊
教案日付	2014年 5月18日

項目	イラスト	お話し
I	a	 <p>モーセはイスラエルの民をエジプトから救うために、パロ王様のところに行きました。しかしパロは言うことを聞かないで、もっとイスラエルの民を苦しめました。</p>
	b	 <p>神様はパロの心を変えるために9つの災いを下されました。(川が血に変わる、カエルがいっぱい、ぶよがいっぱい、あぶがいっぱい、病気で家畜が死ぬ、膿の出る腫れ物が出来る、ひょうと雷で食べ物がなくなる、いなごが緑を食べ尽くす、3日間真っ暗になる)</p>
	c	 <p>神様はもう一つ災いを下すとモーセに語られました。それは真夜中にエジプトのすべての家族の中で、初めに生まれた男の子が死ぬということでした。</p>
II	a	 <p>モーセは民に言いました。「家族ごとに傷のない雄の小羊を殺し、その血を家の門に塗りなさい。肉を焼いてパンと苦い菜っ葉と一緒に食べなさい。そうすれば神様はあなたたちの家を過ぎ越して、災いを受けずに守られます。」</p>
	b	 <p>民はモーセの言った通りにしました。真夜中に、神様はエジプトの家族の中で初めに生まれた男の子を殺しました。子どもが死んだ家族は激しく泣き叫びました。しかしイスラエルの民の子は守られ、災いが過ぎ越したことを感謝しました。</p>

項目	イラスト	お話し
II	c	
III	a	<p>夜パロはモーセを呼んで「家畜もみんなエジプトから出て行って、礼拝しろ」と言いました。エジプト人たちは自分たちが死んでしまうかもしれないと恐れて、民を追い出したのでした。</p>
	b	<p>こうしてイスラエルの民はエジプトから出て行くことが出来ました。ヤコブの家族がエジプトに来てから430年後のことでした。</p>
	c	<p>過ぎ越しは傷のない羊の命を犠牲にすることで、民の命が守られました。同じように、罪のないイエス様の命が犠牲にされたことで、私たちの命が守られました。</p>
結論 (適用)		<p>イエス様が十字架上で犠牲になってくださったことで、私たちの命が守られていることを感謝しましょう。私の罪がイエス様の十字架の犠牲によって、赦されたことを感謝しましょう。</p>

#### 使用方法

- 教案ガイドのイラストをプリントアウトして、裏面にお話しを記載する
- 聖書を熟読し、教案ガイドの教師ノートを参照すること